

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年											2025年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月 ~4日	5月 ~11日	5月 ~18日	5月 ~25日	6月 ~1日	6月 ~8日
カンピロバクター	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36		18	14	38	22	3	4	8	8	5	6
病原性大腸菌	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33		23	107	90	91	11	18	21	21	14 (15)	20
腸管出血性大腸菌	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1		0	0	1	0	0	1	0	1	1	1
サルモネラ	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6		1	3	8	3	1	2	0	3	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4		14	15	6	8	2	3	0	4	0	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13		9	9	14	13	3	2	0	4	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1		0	3	2	1	0	0	1	0	0	0
ロタウイルス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		2	8	9	10	0	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0		1	3	4	4	2	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0		0	11	37	10	1	1	2	2	1	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第23週(6月2日~6月8日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	2	1			2		1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四類	6	日本紅斑熱	1							1
		レジオネラ症	5	2				3		
五類	108	急性脳炎	1					1		
		劇症溶血性レンサ球菌感染症	2					2		
		梅毒	5			1		2	1	1
		百日咳	100	23	18	14		33	4	8

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町

東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年23週(6月2日～6月8日)

■コメント

1 伝染性紅斑

定点当たり3.82人の報告があり、増加しています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

2 百日咳

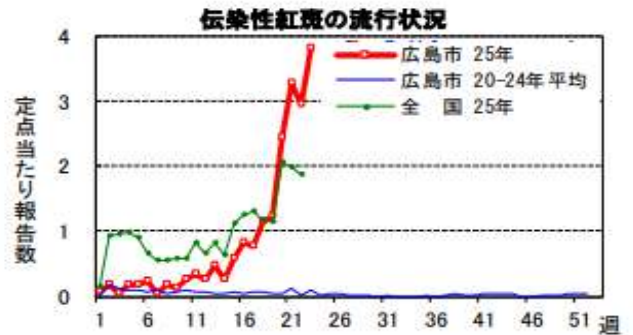
33件の報告があり、多い状況が続いています。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.00人と、多い状況です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は11件となりました。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけん流水で手を洗いましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減	前週と比較しておおむね
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2373	67.80		→	小児科	突発性発しん	6	0.27	0.32		↑	1:2以上の増減
	インフルエンザ	2	0.06	0.42			ヘルパンギーナ	4	0.18	0.38		↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	13	0.37		↓		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.04		↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	4	0.18	1.38		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		↔	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.42	↔		流行性角結膜炎	18	2.25	0.80	→		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	4.00	1.56	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	感染性胃腸炎	153	6.95	5.11	→		無菌性髄膜炎	-	-	-			
	水痘	3	0.14	0.22			マイコプラズマ肺炎	5	0.83	0.09			
	手足口病	4	0.18	1.23			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	伝染性紅斑	84	3.82	0.09	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.11			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	51	20歳代・推定感染地域: 国外、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	11	10歳代・O157、20歳代・O157
4	レジオネラ症	3	11	50歳代、60歳代、70歳代
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	13	60歳代・2人
5	梅毒	2	63	20歳代、40歳代
5	百日咳	33	327	10歳未満・7人、10歳代・15人、30歳代・2人、40歳代・6人、50歳代・3人